

# 令和7年度教員募集要項

令和6年9月13日  
学校法人三重徳風学園

求める教員像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ さまざまな課題・特性・事情を抱え、「困り感」や「生きにくさ」を感じながらも何とか生きていこうと頑張る子どもたちの指導・支援に「働きがい・生きがい」を感じる教員。（“No student is left behind.”）</li> <li>○ 同僚を助け、役割と役割の隙間にある誰の仕事でもない仕事を自分の仕事と思って行動する「協働の姿勢」と「利他の精神」を体現した教員。（Collaboration &amp; Altruism）</li> </ul>
--------	--

募集教科	9教科（国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、外国語（英語）、家庭、情報）	
募集職種	教諭又は常勤講師	
募集人数	各教科若干名	
採用予定日	令和7年4月1日	
応募資格	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 募集教科に応じた高等学校教諭の普通免許状を有すること。</li> <li>2 学校教育法第9条に定める欠格条項に該当しないこと。</li> </ol>	
応募手続	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 提出書類等               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「講師登録申請書（履歴書）」（ホームページ <a href="http://mietokufu.ed.jp/publics/index/4/">http://mietokufu.ed.jp/publics/index/4/</a> に掲載。登録申請済みの方は提出不要。）</li> <li>(2) 「教育職員免許状（写）」又は「教育職員免許状取得見込証明書」</li> <li>(3) 最終学歴の「卒業証明書」及び「成績証明書」</li> <li>(4) 「小論文」 ※論題を記したA4の様式をホームページで公表しています。</li> <li>(5) 110円切手を貼付し、自分の住所・名前を記載した長3封筒</li> </ol> </li> <li>2 提出先 〒519-0145 三重県亀山市和賀町1789-4 学校法人三重徳風学園採用係宛 ※封筒表に「教員採用関係書類在中」と朱書きしてください。</li> <li>3 提出期限 <b>10月8日（火）</b> ※期限に間に合わない場合はご一報ください。</li> </ol>	
採用試験	前期試験	終了。
	後期試験	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 1次選考 提出書類による選考を行い、選考結果は10月中旬に通知する予定です。合格者は2次選考に進んでいただきます。</li> <li>2 2次選考               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 選考日時 <b>10月19日（土）</b> ※時間は1次選考の結果通知でお知らせします。</li> <li>(2) 選考場所 学校法人三重徳風学園（三重県亀山市和賀町1789-4）</li> <li>(3) 選考方法 個人面接（45分程度。）</li> <li>(4) 選考結果 次のア～ウのうちどの結果であったかを<b>10月末日</b>までに通知する予定です。 ア 内定：採用内定となった旨を通知します。 イ 内定留保：「採用候補者名簿」に記載された旨（掲載期間は応募年度を含め2年間）、及び名簿登載後に欠員が判明した教科について選考状況の良い人から採用内定となる旨を通知します。 ウ 不合格：選考に漏れた旨を通知します。</li> </ol> </li> </ol>
勤務条件	初任給	200,850円（四年制大学新卒者の場合で調整手当を含む。既卒者は職歴加算有り。）
	手当	通勤手当、住宅手当、扶養手当、主任手当、特別勤務手当、時間外労働手当、休日労働手当、調整手当等
	賞与	年2回4ヵ月、但し勤務1年目は3.2ヵ月。（前年度実績）
	昇給	有り。
	勤務時間	「1年単位の变形労働時間制」を採用。「8:15～12:45、13:30～18:00、休憩60分」が基本です。勤務時間4時間の日を夏季・冬季の休業期間中に多く設けるなど、年間総労働時間の縮減を図っています。
	休日・休暇	土・日曜日（但し、面接指導（スクーリング）実施日、オープンキャンパス実施日等を除く。）、祝日、創立記念日、年次有給休暇、特別休暇（産前産後、慶弔関係等）、育児・介護休業
福利厚生	私学共済（健康保険・年金）、雇用保険、労災保険、定期健康診断、退職金制度	

その他	<p>1 常勤講師は1年ごとの契約更新で最長3年の任用。1～3年後、勤務状況等により教諭に正式採用可。</p> <p>2 募集教科の授業のほか担任業務及び分掌業務（総務、教務、生徒指導、進路指導、広報のうちいずれか一つの分掌に係る業務）等を担う。</p> <p>3 本学園には生徒寮（土日・長期休業日は閉寮し、寮生は帰省。）があります。宿直で寮監業務に従事できる方を歓迎します。寮監業務に従事した場合は寮生徒指導手当が支給されます。寮監業務に従事せず、生徒寮を生活の本拠とすることも可能です。</p>
個人情報取扱	応募書類は教員採用だけに使用し、目的外使用及び返却いたしません。予めご了承ください。
その他	本学園には、通常の高等学校にはあまりみられない特色ある仕組み・取組がたくさんあり、それらを総称して“徳風スタイル”と呼んでいます。採用試験前に、“徳風スタイル”についての説明や種々の相談を希望される場合は、遠慮なしに下記の間合せ先に御連絡ください。
間合せ先	<p>教頭 神谷 卓敬（かみや たかひろ）</p> <p>TEL:0595-82-3561(代)      FAX: 0595-82-3511      <a href="mailto:toku9@mietokufu.ed.jp">E-mail: toku9@mietokufu.ed.jp</a></p>

## （参考）「2024年度学校経営シート」より抜粋

### □ スクール・ミッション（本学園の存在意義・社会的役割を踏まえ、どのような学校の実現を目指すかを示す「目指す学校像」）

1	さまざまな課題・特性を持ち、「困り感」や「生きにくさ」を感じながらも頑張っ生きていこうとする子どもたちを受け入れ、仲間と共に学校生活を送る場を徹底して保障する学校 (No student is left behind.)
2	生徒が「社会人として必要な基礎的・基本的な学力」と「職業人として必要な実践的・専門的な技能」を身に付け、入学時に想定されたよりも大きな成長を遂げて「自立と社会参加」を果たす学校 (Independence and social participation through overachievement)
3	生徒が「この学校で学べて良かった」、保護者が「この学校に通わせて良かった」、教職員が「この学校で勤務して良かった」と心から思える学校 (We love “Tokufu.”)

### □ スタッフ・ポリシー（職員にどのような勤務姿勢・態度の体現を期待するかを示す「目指す職員像」）

1	多忙な同僚を助け、役割と役割の隙間にある誰の仕事でもない仕事を自分の仕事と思って動く協働と利他の精神 (Collaboration & Altruism) を体現した職員
2	スクール・ミッションの実現に向けて主体的に職能成長を続ける専門職 (Profession) としての姿勢を体現した職員
3	「優しさ」と「厳しさ」を併せ持ち、「個性」を生かしつつ「同僚性」を高め、「自由」を愛し「規律」を尊ぶ姿勢を調和的に体現 (Synthetic Competence) した職員

### □ “徳風スタイル”（他ではあまりみられないと考えられる本学園の特色ある仕組み・取組の総合的呼称）

	主な徳風スタイル
教育システム	○高専併修による“ダブルスクール教育” ○日本語コース設置      ○チーム担任制(注1)
学校生活	○30人学級      ○9時30分始業      ○スクールバス通学      ○生徒寮 ○「徳風総合支援プログラム」による支援(注2) ○「三重徳風学園奨励金制度(エンカレッジ制度)」の創設(注3)
授業	○45分5限授業      ○5日間の定期試験      ○ライフスキルとソーシャルスキルの習得 ○補充授業の実施(注4)      ○「自立支援型デュアルシステム」の実施(注5)

(注1) 学級担任を一人の教員に固定せず、当該学年に所属する複数の教員がチームとなり、学級における生徒の指導・相談等の業務をチーム全員がローテーションを組むなどして担当する学級・学年運営の方法のこと。

(注2) 医療・福祉・行政等の関係機関と連携し、特別な支援を必要とする生徒の成長を適切に支援する取組のこと。

(注3) 自らの課題・特性・環境を「バネ」にして前向きに生きていこうと頑張る生徒（例えば、アルバイトをして家計を助ける生徒、家事や家族の世話、介護等をしているヤングケアラーの生徒等）や学校指定の運動部に所属し勉学との両立に励む生徒等への経済的支援を目的とする奨励金制度のこと。

(注4) 怠学以外のやむを得ない理由で欠席が多くなった生徒について、欠課時数が所定の基準を超えた科目等の履修を認定できるようにするため、超過時数分を補充するために行う特別授業のこと。

(注5) インターンシップの標準的な実施方法や一部の専門高校が実施している「日本版デュアルシステム」とは異なる、本校生徒の実態等に即した拡大版インターンシップのこと。